

はじめに

模範解答と解説がされていない部分を中心に解説しています。また、手元に問題を置いてこのプリントを見てください。

◇問一

文章全体の意味は解説の現代語訳を参考にしてください。

▼(ア)

大まかな訳をすると次の通り

古文…人の食物を嫌ふことあれば、その身必ず瘦す

↑

現代…人が食べ物を嫌うことがあれば、その身体は必ず痩せる。

選択肢の誤っている点

- 2 食べ物のことに触れていないので誤り。
- 3 「よい結果になる」ことが古文中のどこにも書かれていない。
- 4 「他人の善意」について古文中のどこにも書かれていない。

▼(イ)

大まかな訳をすると次の通り

古文…大人は賤しきを嫌ふまじ

↑

現代…大人は賤しいものを嫌うはずがない

ここでのポイントは「大人」

「大人」は子供と比べた大人ではなく、「大物」「立派な人物」ととらえる。
なお、「まじ」は次の例文で使われている「まい」と同じ意味。

例 天才の彼がまさかそんなミスはするまい。|| ミスをするはずがない。

▼
（ウ）

「その」理とあるので、指示語の問題。|線の直前を解釈

古文…麒麟といふ賢き獣、おのづから一躡のあやまりなきにあらず。

↑

現代…麒麟という賢い動物ですら、たまたま一度のつまずきの失敗がないことはない。

↑

失敗がある

つまり、賢い（優れている）ものですら、失敗することはありえるということ

▼
（エ）

現代語訳を参考にしてください。

選択肢の誤っている点

- 2 「勉強をおろそかにせず」以下が古文中に書かれていない。
- 3 「自らのあやまちにく」以下が古文中に書かれていない。
- 4 「ほうびをちらつかせる」という部分が書かれていない。

◇
問三

模範解答の解説を見てください。

◆問四

▼
（ア）

―線部の前後で文の展開を確認 ※（ ）は簡単な言葉に言いかえた例です。

現代は機械の精緻さ（正確さ）が飛躍的に（グンと）高まり、従来の（今までの）単純反復（単純な繰り返し）労働を極限（できるところまで）まで肩代わりする時代だが、そうなる
と人間の肉体労働も質的に変化せざるを得ない。

↑ どのように？

すでに兆候の見える事態だが、もの造りは大きく二つに分かれ、それぞれ過去の単純反復労働から訣別することになるだろう。

↑

①は余暇時間を埋める**ホビー**としての**手仕事**、**もう一つ**は知的活動の延長としてなされる手仕事、すなわち設計図の立体化といふべき**試作品を作る仕事**。

まとめ

ここでの「変化」は仕事が二つに分かれたこと。その分かれた二つの仕事に触れている選択肢が正解。

残りの問題は解説を参考にしてください。